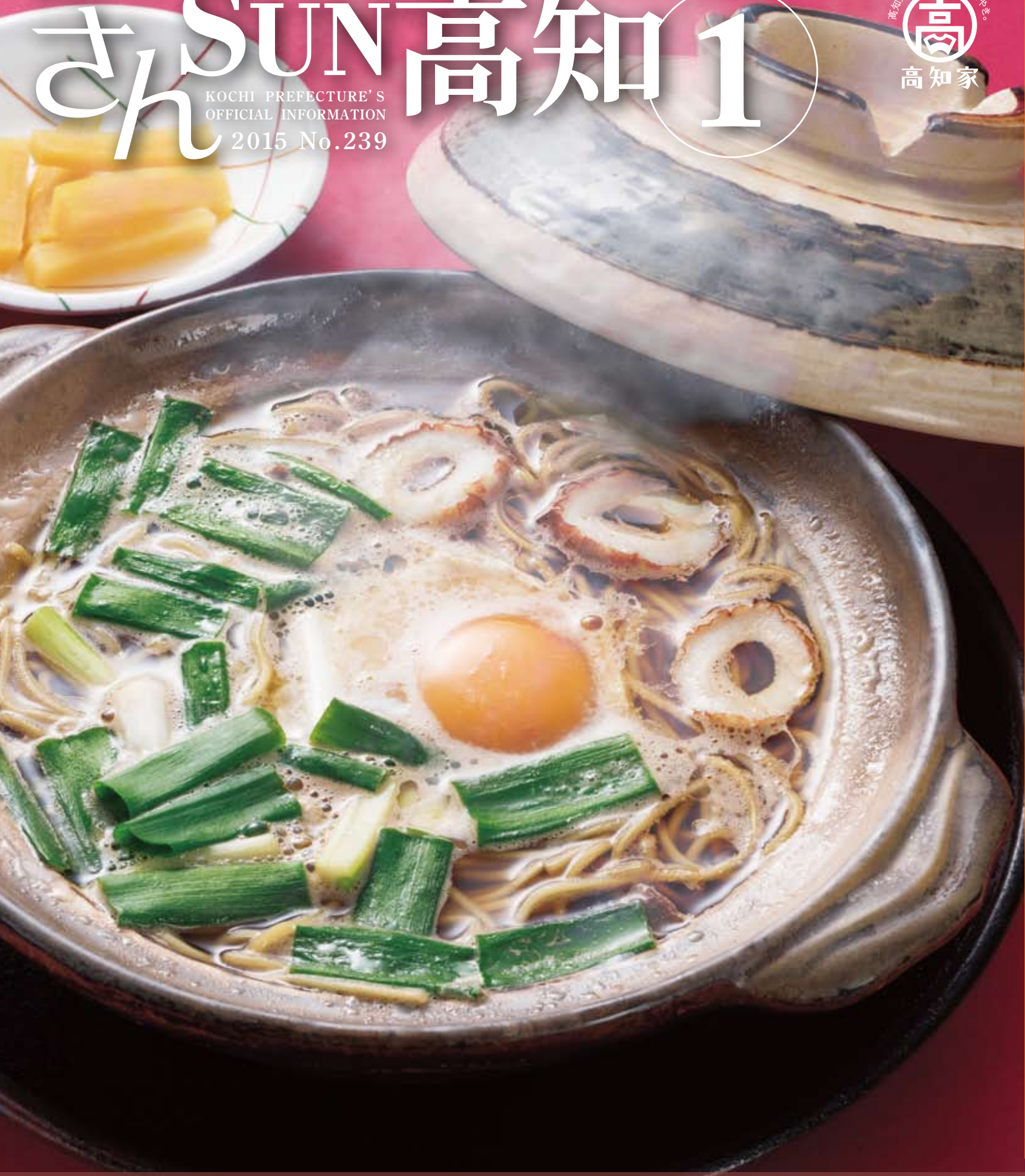


県政だより

さんSUN高知1

KOCHI PREFECTURE'S
OFFICIAL INFORMATION

2015 No.239



高知家の食卓グルメ 10

須崎市
須崎鍋焼きラーメン

鶏がらをダシにした醤油ベースのスープにストレートの細麺、ネギや生卵、ちくわをトッピングした土鍋入りのラーメン。熱々を「フーフー」言いながらいただくのがおいしい食べ方です。今では全国区の人気となり、須崎市内の33店舗で提供されています。

問 須崎市観光協会 TEL0889・42・2575 <http://susakishikankou.com/>



特集

高知の農業をさらに力強く！
「次世代型こうち新施設園芸システム」の取り組み

◆ 県政ピックアップ

- ① 尾崎 正直 高知県知事 年頭所感
- ② 高知県への移住(U・ターン)を全力で応援しています！

◆ 高知家自慢の家族

移住者の視点を生かして、地域の皆さんに恩返し
株式会社無手無冠 番頭 福永 太郎さん

尾崎 正直 高知県知事 年頭所感

謹賀新年

高知家の皆さま、あけましておめでとうございます。今年も、県勢浮揚を目指して全力で取り組んでまいります。皆さまからのご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



高知の経験を全国に

地方をいかにして元気にするか、少子化、人口減少をいかにして止めるか。今、全国的に活発な議論が展開されています。私も人口減少最先端の県知事として、東京で意見を求められる機会が増えました。高知の経験を伝え、国の政策立案に生かし、併せて、その流れを本県の追い風とすべく努力する日々です。

高知県の人口が自然減となったのは全国最速の平成2年。併せて、経済規模も縮み続けてきました。県内の年間商品販売額は、生産年齢人口の減少と軌を二にして、平成9年からの10年間で約2割減少し、有効求人倍率も、平成12年以降約10年間、全国は1を超えて回復したにも関わらず、本県は0.4〜0.5近辺で低迷し続けました。

人口減との戦い

現在、本県の65歳以上人口は15歳未満の約2倍超であり、人口減少自体を止めることは容易ではありません。この逆風の中で、いかにして県民お一人おひとりの暮らしを守るか、これこそ、私が就任以来挑戦し続けてきた命題です。

足下の経済が縮むのなら、外に打って出なければいけません。平成21年度より、地産外商を旗印に産業振興計画を全力で進めてまいりました。近年は後継者確保も狙い、移住促進にも取り組んでいます。また中山間対策として、あつたかふれあいセンターなどの支え合いの仕組みづくりや、集落活動センター設置といった攻めの対策にも着

手し、加えて、出会いのきっかけづくりなどの少子化対策も強化しています。これらは、全て人口減少による負の連鎖を断ち切るための挑戦です。

一部には明るい兆しも見えてきました。地産外商公社が関わった成約件数は、平成21年の178件から平成25年には3333件に、観光客数も過去の310万人台前後から近年は400万人台前後になるなど、地産外商のパイプは確実に太くなり、有効求人倍率も過去最高水準の0.8台半ばまで上昇しています。

まだまだやるべきことは山積しています。ただ、逆風はすさまじくとも進むべき方向は見えてきました。県勢浮揚を図るため、私自身、今年も全身全霊を挙げて「飛躍への挑戦」を続けます。

本年も皆さまより倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



県内各地で開催した産業振興計画のシンポジウムには、大勢の県民の皆さまにご参加いただきました。



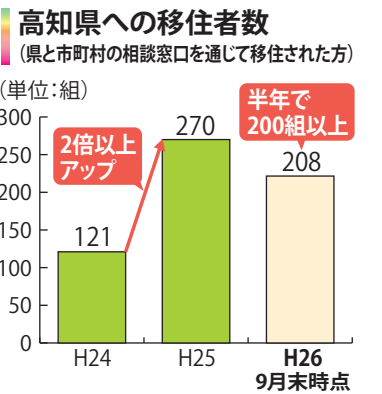
昨年6月、ソールに「高知家の女性のご応援室」を開設。高知の女性の「働きたい」を全力で応援しています。

問い合わせ 県庁秘書課 TEL 088-823-9151 FAX 088-824-7745 知事のページ <http://www.pref.kochi.lg.jp/chiji/>

高知県への移住(U・Iターン)を全力で応援しています!

高知家自慢の食や自然、温かい人の魅力により、高知県へ移住される方は年々増えており(下図参照)、多くの方が地元の皆さまと一緒に活躍されています。県では、このような移住の促進により、地域を一層元気にしていくため、移住を希望される方からのご相談にきめ細かく対応する移住・交流コンシェルジュの体制を強化するなど、年間500組の受け入れを目指した取り組みを全力で進めています。

県民の皆さまには、引き続き移住促進に向けたご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



移住相談窓口のご案内

県庁移住促進課の他、東京や大阪でも移住のご相談を承ります。ぜひ県外のお知り合いにご紹介ください。

【東京】高知県アンテナショップ「まるごと高知」
TEL 03・3561・8417(年末年始などを除く)

【大阪】大阪ふるさと暮らし情報センター
TEL 088・823・9336(毎月第4金・土曜日)

※いずれも事前予約制

問い合わせ 県庁移住促進課 TEL 088-823-9755 FAX 088-823-9258 HP <http://www.pref.kochi.lg.jp/~chiiki/iju/>



高知の酒と食、人に魅せられて

人と接すること、飲むこと食べるのが大好きな私は、大阪の居酒屋で働いていました。お客さんにおいしい日本酒を紹介したい一心で全国の酒蔵を巡っていた時、「日本一の酒豪県である高知の酒はさすがに「味違う」と魅了され、「食べ物も人の温かさも世界一」と確信。ついには、何のあてもないまま高知市への移住を決めました。

職はゆっくり探そうと思っていま

したが、移住して間もない時、たまに訪れた無手無冠の営業所で会長や女将とお酒談議に花が咲き、そのまま入社

地域の魅力を世界中にPR

お世話になった皆さんへの恩返しにと始めたのが「地域からの情報発信」です。地元の方にとっては当たり前かもしれませんが、移住者の私にとっては、四万十川の美しい自然やおいしい食べ物など、この地域にあるものすべてが宝物。この感動を一人でも多くの方に体験してもらいたかったので、無手無冠のフェイスブックを通じて、地域の魅力を

世界中に発信しています。このフェイスブックは1日3万人の方にご覧いただき、四万十町へ遊びに来てくださる方も徐々が増えてきたように感じます。

なじみのない土地でゼロから生活を築く「移住」は決して簡単なことではありませんが、地域に溶け込むことができれば苦労以上の喜びがあると思えます。そのためにも、移住前に地域の実情を知っておくことが何より大切です。私は、県外の移住相談会などで高知の魅力や移住の苦労をお伝えすることもありますが、興味のある方には直接お話しすることもできますので、ぜひ四万十町まで遊びに来てください。

自慢の家族

高知家

飛躍への挑戦! 高知県産業振興計画



このコーナーでは、県内各地で高知家を元気にしている自慢の家族をご紹介します。



株式会社無手無冠 番頭 福永 太郎さん

宮崎から大阪を経て高知へ移住。四万十町の酒造会社で番頭として働く傍ら、フェイスブックなどを駆使して地域の情報を発信する福永さんに、高知の魅力や移住について伺いました。

飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

高知の農業をさらに力強く！

「次世代型こうち新施設園芸システム」の取り組み

温暖な気候に恵まれた高知県は、野菜・果樹・花きなどのハウス栽培が盛んな、全国屈指の施設園芸産地です。県では、この強みをさらに伸ばしていくため、第2期産業振興計画の農業分野の強化策として、オランダの先進的な技術を取り入れた園芸農業システムを県内全域に普及拡大する取り組みをスタートしました。今回は、最先端の技術を活用して高品質・高収量を目指す「次世代型こうち新施設園芸システム」についてご紹介します。

オランダから学んだ先進技術を高知の農業に導入

オランダは、日本の九州程の面積でありながら、世界第二位の農産物輸出額を誇る園芸農業の先進国です。

県では、平成21年11月に、オランダで最も施設園芸が盛んなウエストラント市と友好園芸農業協定を締結し、高軒高（ここのきだか）ハウスや環境制御などの先進技術を学んできました。



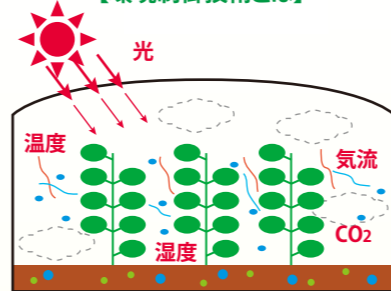
友好園芸農業協定の結結式の様子

【高軒高ハウスとは】



従来よりも高い軒高でハウス内の容量を確保することにより、農産物の生育に最適な環境を維持しやすく、多くの収量が期待できます。

【環境制御技術とは】



ハウス内の温度・湿度・光・炭酸ガス濃度などの環境を制御することで、光合成を促進し、高品質・高収量を実現します。

こうした環境制御技術の効果を実証するため、平成25年11月から、県内農家の既存型ハウス内で炭酸ガスを与えて栽培した結果、ナスやピーマンなどの7品目で収穫量が5〜37%向上しました。

さらに今年度からは、四万十町に「次世代施設園芸団地」の整備を進めています。この団地では、平成28年度から、県内の3事業者が、4.3haの高軒高ハウスで、従来の約2.1倍の収量を目指したトマトの栽培を行うこととしています。また、この生産を通じて、より効率的な生産方法の大規模実証に取り組む予定です（左ページの図の①）。

今後は、昨年4月に開設し、この団地に隣接した「農業担い手育成センター」を拠点として、新規就農者を育成するとともに、団地で実証された先進技術の普及を進めていきます。

【次世代施設園芸団地のイメージ図】



農業担い手育成センターでは、就農を目指す研修生を募集中。先進的な栽培技術や農業経営について学びたい方はお問い合わせください。

TEL 0880-24-0007



研修の様子

「次世代型こうち新施設園芸システム」の普及に向けて

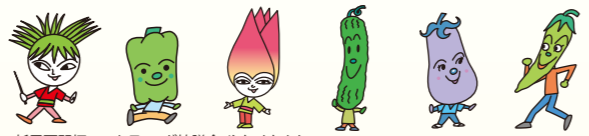
右ページで紹介したような先進技術を県内全域へ広げていくため、県では、農家の皆さまの施設規模などに応じた技術を早期に取り入れていただけるよう、ハード・ソフトの両面で次のような支援を行っています。

ハード面 施設整備などへの支援

- 一定の軒高と規模があり、30〜50%の収量増が期待できる次世代型ハウスの整備に必要な経費への補助を行うことで、農業生産法人などの生産規模の拡大を支援（下図の②）
- 県内に広く普及している既存型ハウスに、15〜30%の収量増が期待できる環境制御機器を導入する経費への補助を行うことで、生産性の向上などを支援（下図の③）

ソフト面 技術的なサポートなどの支援

- 環境制御技術に習熟した県の普及指導員やJJAの営農指導員を県内5ブロックに10名配置し、環境制御機器を導入する際のサポートや導入後のきめ細かなアドバイスを行っています。
- 環境制御技術を導入したハウスを「学び教えあう場」として活用させていただき、先進技術のノウハウや効果を多くの農家の皆さまに普及しています。



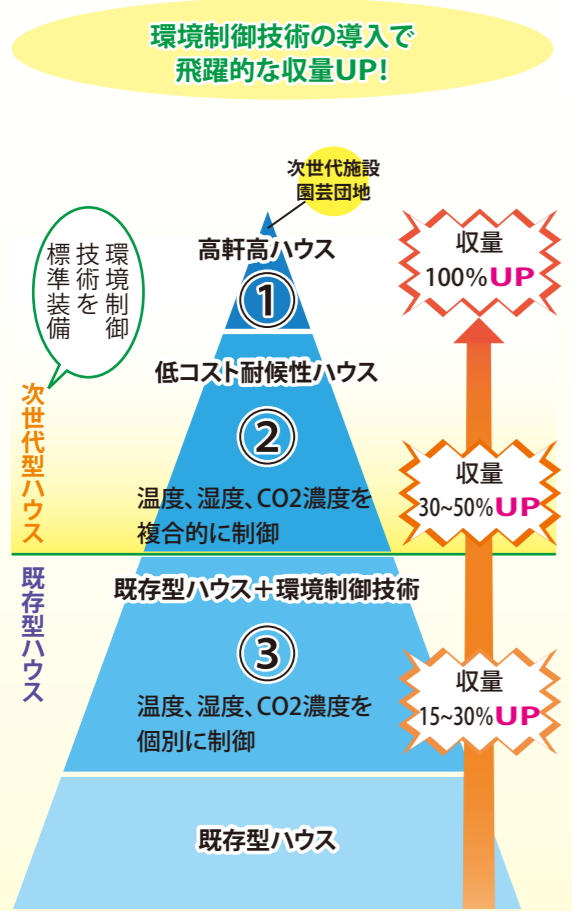
※新需要開拓マーケティング協議会・やなせたかし



ハウス内で学び教えあう様子



次世代型ハウスでのトマト栽培



農地を貸してください

規模拡大に意欲的な農業者に農地を集積するため、農地を貸していただける方を募集しています。ご協力いただける方、関心のある方は、高知県農業公社までぜひご相談ください。（要件を満たせば協力が交付されます）

また、農地を借りたい方についても定期的に募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ】
（公財）高知県農業公社（農地中間管理機構）
住所：高知市丸の内2丁目4番1号（県庁北庁舎4階）
TEL：088-823-8618 FAX：088-824-8593
E-mail：info@kochi-apc.or.jp

県立施設 INFORMATION のご案内

[開館時間] 9時～17時

高校生以下は無料

※のいち動物公園は9時30分～17時
※最終入館が閉館30～60分前までの施設もあります。

◆身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者とその介護者(1人)は入館無料。高知県・高知市長寿者手帳をお持ちの方は入館無料。手帳は原本をお持ちください。企画展は観覧料が必要な場合があります。

文学館

高知市丸ノ内1-1-20
TEL 088-822-0231
観覧料:360円(常設展のみ)
休館日:1月1日

●万葉集・こころの旅展
～大和路を愛した入江泰吉の
作品とともに～

日 2月8日(日)まで
料 500円(常設展含む)

●万葉集・こころの旅展関連ト
ーク「入江泰吉の写真家人生～
大和に魅せられて～」

日 1月18日(日)14時～15時30分
講師:入江泰吉記念奈良市写真美
術館 木村真士さん
料 無料(要観覧料) 数 先着100人
申込方法 電話、文学館受付

●記念講演会「入江泰吉と万葉集」

日 1月31日(土)14時～15時30分
講師:大阪府立大学教授
村田右富美さん
料 無料(要観覧料) 数 先着100人
申込方法 電話、文学館受付

芸西天文学習館

安芸郡芸西村和食甲4668-1
TEL 088-824-5451
(高知県文教委協会)
休館日:観測学会等開催日時
以外は休館

●天体観測学習会

日 1月12日(月・祝)、15日(木)、
17日(土)、25日(日)、2月7日
(土)18時～20時
最も美しい輝きを見せる、冬の
星空を楽しめます。
料 無料 数 各日とも先着40人
申込方法 電話(前日まで)

坂本龍馬記念館

高知市浦戸城山830
TEL 088-841-0001
入館料:500円
休館日:年中無休

●「幕末維新期の書画と写真」展

日 1月16日(金)まで

●「4代目坂本直道」展

日 1月17日(土)
～3月31日(火)
坂本(龍馬)家
4代目を継ぎ、
満鉄ヨーロッ
パ事務所長な
どを務めた坂
本直道の生涯
を紹介します。



坂本直道

のいち動物公園

香南市野市町大谷738
TEL 0887-56-3509
入園料:460円
休園日:1月1日、5日、13日、19日、
26日

●動物たちに恵方巻き

日 2月3日(火)11時
節分の日に合わせて、動物たち
に飼育係手作りの特製恵方巻
きをプレゼントします。



●のいち動物公園写生コンテ
スト作品展

日 2月22日(日)まで

牧野植物園

高知市五台山4200-6
TEL 088-882-2601
入園料:720円
休園日:1月1日

●植物からの贈りものシリーズ
第6回「天然ゴムのできるまで」

日 2月8日(日)まで
天然ゴムの原料・
パラゴムノキに焦
点をあてて紹介。
体験コーナーもあ
ります。



美術館

高知市高須353-2
TEL 088-866-8000
休館日:1月1日
観覧料:一般360円、大学生250円

●高知県立桃源郷
「新・高知の造形文化展」

日 1月11日(日)～3月22日(日)
県内で制作されたユニークな造
形物を展示。
料 一般870円、大学生570円、
高校生以下無料

●シャガール・コレクション展
聖書の世界③版画集《聖書》第3期

「～ソロモンの栄華と民族の興亡～」
日 2月1日(日)まで

●石元泰博写真展
「この素晴らしき世界2期」

日 2月8日(日)まで

●高知家の風景
～ノスタルジー散策～

日 2月28日(土)まで
幕末から昭和に描かれた日本画・
洋画・版画などの作品をとおし
て、高知の懐かしい風景を紹介。

歴史民俗資料館

南国市岡豊町八幡1099-1
TEL 088-862-2211
観覧料:510円(企画展開催時)
休館日:2月28日まで2階長宗我
部展示室を展示替えのため休室

●企画展「田辺寿男の民俗写真4
たましいの四季」

日 1月2日(金)～3月22日(日)
土佐の民俗写真家・田辺寿男の
「人生」をテーマにした情感あふ
れる白黒写真約100点を紹介。

●企画展展示室トーク

日 2月7日(土)14時～15時
学芸員が「田辺寿男の民俗写真
4」を解説します。
料 無料(要観覧料)

●コーナー展「昔のくらしの道具」

日 3月8日(日)まで
電気・ガス・水道がなかった時
代の生活が分かる道具を展示。

土佐山内家宝物資料館

高知市鷹匠町2-4-26
TEL/FAX 088-873-0406
入館料:300円
休館日:1月1日

●「吉祥」展

日 2月1日(日)まで

●江戸時代検定 中級

日 1月25日(日)14時～15時30分
土佐藩を事例として「鎖国」体制
下の藩のあり方や社会の変化を
中心に出題。

所 山内会館(山内資料館隣接)
料 無料
数 先着50人(要事前申込)
申込方法 電話、ハガキ、FAX

広告

テレビCM 放送中 キャッシングのご返済時に払いすぎたお金が戻ってることがあります

無料法律相談

代表司法書士
大橋 正崇

司法書士
寺島 能史

借金が減ったり、お金が戻ってくる

可能性のある
業者をチェック

- 消費資金金融系
- アイフル(ライフ) □アコム □三洋信販(ポケットバンク) □CFJ(ディック・アイク・ユニマートレディース・ユニマートライフ) □シンキ(ノーローン) □新生フィナンシャル(レイク) □プロミス

信販系

- アプラス □イオンクレジット □NTTファイナンス □オリコ(オリエントコーポレーション) □クレディセゾン(UCカード) □KCカード(国内信販・楽天KC) □高知カード □セディナ(OMC・セントラルファイナンス・クオーク) □ニッセン(マジカルクラブカード) □フジ・カード(エフカ) □ペルーナ □ポケットカード(マイカルカード) □三菱UFJニコス(日本信販)

あなたの借金は「いくら減る?・いくら戻る?」
まずは「無料診断ダイヤル」に
お電話ください

司法書士法人 みどり 法務事務所

Judicial scrivener corporate legal office MIDORI

〒780-0056 高知県高知市北本町2-1-12 ザ・ケース高知駅前ビル3F 代表司法書士:大橋 正崇

0120-405-405
相談無料・秘密厳守 9:00～20:00(土日対応可)

高知司法書士会 所属登録番号第328号 簡裁訴訟代理関係業務認定番号第1001096号 ※経済的利益が簡裁代理権の範囲(140万円以下)の紛争解決を依頼者に代わって行うことが可能です。

県人口 総数:737,545人
(前月比) -216人

男性 346,695人
(前月比) -88人

女性 390,850人
(前月比) -128人

世帯数 321,670世帯
(前月比) +48世帯

11月1日現在の高知県推計人口
(県庁統計課)

再生紙を使用しています